

大阪府立大学人工光合成研究センター における研究紹介と施設見学会を実施

2019年11月30日（土）に、大阪府立大学において、電気関係学会関西連合大会が開催されました。この大会は、電気科学に関する研究成果発表と情報交換の場として、電気関係各学会の関西支部に属する研究者、技術者、教育者、学生が大勢参加しています。



大会中には、一部の参加者（約20名）が人工光合成研究センターの施設見学会をされました。当日は吉田朋子副センター長がパネルプレゼンテーションやセンター紹介DVDを用いて、人工光合成研究センター設立の趣旨や、本センターが平成28年度に文部科学省共同利用・共同研究拠点として認定を受けたことを説明しました。



また本センターが2019-2020年度大阪府立大学戦略的重点研究として採用された研究課題「人工光合成研究拠点を利用した二酸化炭素大幅削減に貢献する基盤技術創出」についても紹介しました。



本センターは、共同研究講座・部門のための化学実験室、生化学実験室および分析機器施設を備えています。フーリエ変換イオンサイクロン共鳴質量分析計（FT-ICRMS）、超高輝度X線結晶構造解析装置などの最先端分析装置も見学して頂きました。これらの装置は本学内での利用はもとより、学外からの利用にも対応する体制を整えています。また低温室や光ダクトなど人工光合成研究に関連した実験室・装置なども紹介し、参加者から多くの質問が出ました。



人工光合成研究センターは、このような施設見学会を随時開催しています。人工光合成拠点のホームページやFacebookで最新情報をチェックしてください。